

9月になりました。本日も熊本労災病院のHPを訪れていただきありがとうございます。

「酷暑」といわれましたが、熊本の暑さはいつものように感じました。国内では大雨の地域も多く、秋の實りにも心配があります。値上げの嵐ですが、エネルギーのみならず、食料にも国の安全保障を考えた対応が必要と思います。当院の電気代も値上がりし、昨年と比べて、毎月200万円程度高くなっています。各ご家庭でも同様かと思いますが、当院でも、患者様には御迷惑をおかけしない範囲で節電対策を検討中です。冬にかけては、ボイラー用の重油価格も気になるところです。思わぬ所でのコストの上昇対策も病院運営には必要です。

新型コロナウイルス感染症も、県内では少し下火傾向となりました。当院では7-8月にクラスターが発生し、皆様にたいへんなご迷惑をおかけしましたが、陽性入院患者数や発熱外来受診者数は減少しつつあります。まだ、陽性者専用病棟は確保していますが、今後、通常病床への再転換を検討中です。この2年半、新型コロナウイルス感染症一点張りで、一般診療の中でも、とくに初期のがんの発見が遅れがちになる傾向がみられています。外来診療に来て感染するということはまずありませんから、気になることがあれば、どうぞ躊躇無く、ご来院、あるいはご紹介ください。

NHKの「ドキュメント 72時間」という番組をご存じでしょうか。8月に、放送開始後10年を期して、これまでの全番組から、視聴者投票でのベストテンを発表して再放送する企画がありました。その中で、当院の松村副院長（番組では、ただ「心臓内科医」と紹介されていました）率いる、当院の職員などで構成する同番組を愛する会のメンバーが集まり、その独自のベストテン決定風景が紹介されました。毎年、年末にはその年毎のベストテンを決めている（呑んでいる？）とのことでした。どこの病院とか、属性は全く紹介されませんでした。ビデオには八代城跡の石垣がはっきり映っていました。そのグループの存在は知りませんでした。そこでの各回の評価は、全国集計に近い結果だったようです。夜遅めの番組でもあり、私も大学勤務時代に遅く帰宅してぼーっと見てたことが何度かありました。そして、一番記憶に残っていたのは、まさに視聴者ランキングトップだった、秋田港のうどんの自販機の回でした。松村先生が番組内で言っていたごとく、北国でのVTRの絵面は、雪が降るだけで印象深く高評価になるというのはごもっとも、とも思いました。しかし、私自身、このうどん自販機に実際にお世話になった事があったので、なおさら印象に残っています。

今から45年前、まだ研修制度がない時代で、卒後1年目の1977年、「小児科医」として、琵琶湖畔の市民病院に赴任させられました。京都市内に住む部長と私の二人体制のため夜は私一人という環境で、しかも内科系の全科当直が月に何回かありました。その病院になんこの自販機があったのです。当然当直医用の食事はありましたが、周りにはコンビニなど全くない時代でもあり、未だ若かった私は夜には腹が減るわけで、この自販機にずいぶんお世話になりました。おそらく、購買対象は昼間の外来者などで、前まで来て「売り切れ」マークが付いていて愕然とさせられたことも多く、夜はおそらく昼の残りだったのかなと

思います。それでも、うす黄色のプラスチック容器に入った熱いきつねうどん（そこは天ぷらではなくきつねでした）は、とても美味しかったものです。寒風吹きすさぶ秋田の光景はテレビ画面で目に焼き付きましたが、深夜の病院外来の真っ暗な中で、数分間ながら、ひとりで自販機の前でうどんをすする医師の姿も、今から思えば結構シュールな気がします。ちなみに、汁物なので、秋田のように戸外に設置するのがいいと思いました。病院のそれは、やはり周りがちょっと汚くなっていた記憶があります。

当院には、職員も随時利用できるような職員食堂が無く、患者さん用にも小さいものがあるのみです。周囲もなかなかのどかで、飲食店はほぼありません。私の院長赴任直後に、売店をコンビニにしました。当座は特に研修医などには人気でしたが、年がら年中コンビニ食というわけにいかず、食のアメニティー改善は、職員、そして患者様にも急務にもなっています。たかが食、と侮ることなかれ、で、食環境の整備は、研修医のみならず、地域医療実習に来る熊本大学の学生の支持を得ることにつながり、将来の医師確保策の一環となりえます。カフェテリアとは言いませんが、職員も利用できる広めのレストランやベーカリーカフェの存在は、今後の病院機能向上への一端であるのですが一朝一夕にできません。せめて当面の弁当提供の拡充向上など、次善の策を練りたいと思います。

現在、病院のロゴマークを制定中で、またこのHPも年度末を目処に一新し、病院としてのアイデンティティーを高め、一般の診療内容や独自で特色ある活動などを今まで以上に発信し、患者様やご紹介いただく医療機関の皆様により信頼される病院であり続けたいと思っています。普段から、「ご意見箱」にはいろいろなご意見をいただいております、実名の方には直接お返しし、匿名の方にはお返事を1階エスカレーター横に張り出しています。その一つ一つが病院をより良くする糧であり、病院運営に反映させていきます。

これからも地域の病院であり続けます。どうぞよろしく願いいたします。